

## ファイナンシャル・サービス事業

「インターネット金融サービスのラインアップを幅広く拡充。安定的収益部門として収益貢献度を高めるべく、三大新事業とのシナジーを活かして飛躍的な成長を狙う」

### ファイナンシャル・サービス事業の主要企業

- ・当事業部(ファイナンシャル・サービス事業)／保険やローンなど各種金融系比較サイトの運営
- ・モーニングスター(株)／大証ヘラクレス(Code:4765)：投資信託を主体とした金融商品の評価情報の提供
- ・ゴメス・コンサルティング(株)／大証ヘラクレス(Code:3813)：ウェブサイトの評価・ランキング・ビジネス支援
- ・SBIペリトランス(株)／大証ヘラクレス(Code:3749)：電子商取引(EC) 事業者向けオンライン決済サービスの提供
- ・住信SBIネット銀行(株)／フルバンキングサービスを提供するインターネット専門銀行で、住友信託銀行(株)と共同出資
- ・SBI損害保険(株)／インターネットを主軸とした損害保険会社で、あいおい損害保険(株) 他と共同出資
- ・SBIアクサ生命保険(株)／日本初のインターネット専門生命保険会社で、アクサ ジャパン ホールディング(株) 他と共同出資
- ・SBIカード(株)／マスターカードブランドの「SBIワールドカード」の発行等、クレジットカード関連事業

### 上場子会社 各社業績

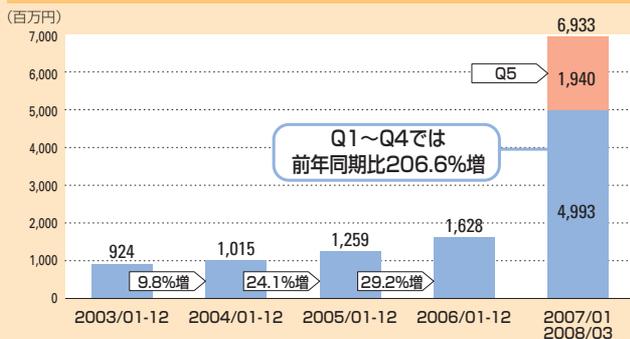
(単位:百万円)  
( )内は前年度比増減率(%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
モーニングスター 2008年3月期 ※1、2	6,933 (-)	824 (-)	891 (-)	447 (-)
ゴメス・コンサルティング 2008年3月期 ※1、2	778 (-)	241 (-)	247 (-)	145 (-)
SBIペリトランス 2008年3月期 ※1	3,622 (+28.8)	733 (+23.8)	744 (+26.4)	438 (+30.2)

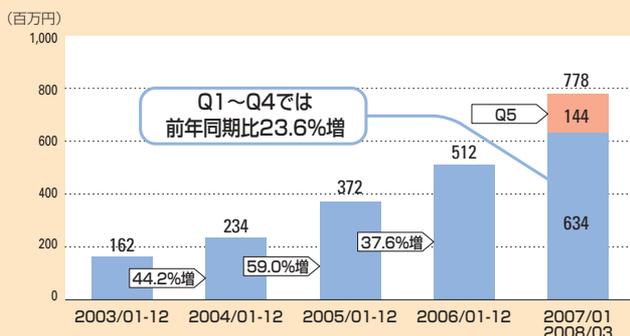
※1 モーニングスターは連結業績、ゴメス・コンサルティング、SBIペリトランスは単体の業績を掲載しております。

※2 モーニングスター、ゴメス・コンサルティングにつきましては、2008年3月期は決算期変更に伴い、2007年1月1日から2008年3月31日までの15ヶ月間となっております。このため、前年度比増減率は記載しておりません。

### 過去5期間におけるモーニングスターの連結売上高推移



### 過去5期間におけるゴメスの売上高推移



新規事業を除いた既存事業群の通期業績は、「貯蓄から投資へ」「ブロードバンド化の進展」「制度改革」などの時流に乗り、売上高を225億円(前年度比19%増)と引続き好調に拡大させました。営業利益は前年度比3%減の32億円となりましたが、これは主に、消費者金融業界全体の低迷が当社のローン比較サイト事業に大きく影響したことによります。

一方で、新規事業群(クレジットカード、カードプロセッシング、ネット生保、ネット損保)においては、開業コストの負担などが大きく影響したことにより、売上高が3億円、営業損失が23億円となりましたが、順調に顧客基盤を拡大させ、好調な滑り出しを見せております。

### 時流に乗り、引き続き好調な上場子会社群

#### 「貯蓄から投資へ」の流れにのる「モーニングスター」

投資信託を主体とした金融商品の評価情報を提供するモーニングスターは、証券専門新聞として国内最大の発行部数(公称3万9千部)を誇る株式新聞社の子会社化(2008年4月1日付でモーニングスターと合併)などが大きく寄与し、大幅な増収増益となりました。グローバルに展開するモーニングスターのコンテンツと、旧株式新聞社が有する豊富な株式コンテンツを生かして「総合金融サイト」を構築します。

国内の株式型投信残高が減少する環境の中においても、モーニングスター・ウェブサイトの年間ページビューは、前年度から約2倍の2億PVと飛躍的に増大し、また、同社子会社のモーニングスター・アセット・マネジメントが投資助言を行う「ファンド・オブ・ファンズ」の運用残高も、2007年3月末の1,064億円から2008年3月末は2,221億円へと順調に拡大しました。

#### ウェブサイトの評価・ランキングで認知度を高めつつある「ゴメス・コンサルティング」

銀行および証券会社向けのウェブサイト分析業務やウェブサイトの企画・設計業務等が順調に推移し、売上高・経常利益ともに過去最高を更新しました。

Eコマースサイトや金融機関サイトを中心に、2007年4月から2008年3月までの12ヶ月間では112社の取引実績を誇っています。なお、2008年4月発表の「Gomez IRサイト総合ランキング」では、国内全上場企業3,934社を調査対象としており、ランキング等を通じて、幅広い業種における顧客開拓を強化してまいります。

### 急拡大するEコマース市場の発展と共に成長を加速させる「SBIペリトランス」

Eコマース(EC、電子商取引)事業者向けのオンライン決済ソリューションを提供するSBIペリトランスは、EC市場やクレジットカード市場の拡大等を背景に順調に成長を続け、売上高・営業利益・経常利益・当期利益の全項目において、単体・連結ともに過去最高を更新しました。

特に、新たな取り組みである「モバイルSuica」や「モバイルEdy」の電子マネーチャージの対応を開始するなど、ビジネス領域が拡大し、2008年3月期のトランザクション件数は3,700万件超(前年度比34.4%増)と順調に増加させております。

### 順調に成長を続ける特色あるファイナンシャル・サービス事業群

#### 「インズウェブ」「イー・ローン」は金融分野で国内最大級の比較サイトに成長

安定的に取引件数を伸ばしている保険商品の見積もりサイト「インズウェブ」をはじめ、各種金融系比較サイトの運営を中心とする当社マーケットプレイス事業全体の2008年3月期の取引件数は88万8千件(\*)となり、引き続き過去最高を更新しました。

一方で、ローン商品の比較サイト「イー・ローン」において、消費者金融業界全体の低迷が大きく影響し、サービスサイトの参画企業から受取る手数料が減少したことが、既存事業群における減益要因のひとつとなっています。

(\*) サイト上で実際に見積もり、資料請求、仮申込等の取引を行った件数で、SBIホールディングスが運営する金融系比較サイト8サイトの合計

### 好調な滑り出しを見せる新規事業群

マスターカードブランドで各種クレジットカードを発行する「SBIカード」は、業界トップクラスの高機能カードの強みを活かし、カード発行枚数は発行開始後1年半で3万2千件(2008年3月末現在)を突破し、順調に顧客基盤を拡大させています。

2007年9月に開業した「住信SBIネット銀行」は開業後

### 国内外の株式投資と投信を中心とした「総合金融サイトの構築」



### SBIペリトランスのトランザクションの件数推移



### 国内最大級の金融系比較・見積もりサイト「インズウェブ」「イー・ローン」を中核としたマーケットプレイス事業の取引件数は引き続き過去最高を更新



すか191日で預金総残高は3,000億円(2008年8月11日現在4,028億円)を突破するなど、急速に顧客基盤を拡大させております。保険事業においては、「SBI損害保険」が2008年1月に開業し、「SBIアクサ生命保険」が同年4月に開業しました。これら三大新事業の開業により、ついに金融生態系が完成し、「インターネット金融コングロマリット」体制が確立されました。